

お客さまへのメッセージ

理事 事業部長
野田 清文 (営業統括 セールスオペレーション&マーケティング)

“らしさ”をお届けします！

平素はひとかたならぬご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。
7月に創刊した「そるねっとつうしん」も、第7号（年度末号）
を迎えることができました。皆さまには、多くのご声援を
いただき、改めて厚く御礼を申し上げます。



手先が器用な野田さん
名札ケースも自作です！

マーケティングでは、昨年度よりお客さまからのご要望の高い、
「情報の提供」「的確な提案」「タイムリーな対応」にお応えすべく、皆さまに
弊社の取り組みやその成果をお届けする活動を継続させていただいております。

昨年度は、これまでに培ってきた成果を“光り物”と名付けて皆さまにお届けすべ
く、ご支援したいソリューションの一端が見える化し、“SOLNET Initiative 7”、
“ITインフラ7”として整備いたしました。そして、この“光り物”を遠方に拠点を設
けておられるお客さまにもタイムリーにお届けするために、ホームページをリ
ニューアルいたしました。引き続き、事例紹介やお役立ちソリューション等にも
磨きをかけ、コンテンツの充実を図って参ります。

そして、今年度は「日常版の情報提供」を目指した「そるねっとつうしん」を
配信させていただいています。“らしさ”をお届けできればと思っておりますが、
まだまだ内容についてはこれからといった状況です。まずは継続していくことが
大事と考えており、これからもお客さまや関係者の皆さまのお声を伺いながら、
ブラッシュアップして参ります。

5年後の50周年に向けて、来年度は社員ひとり一人の活動を通
して、お客さまの課題解決に貢献できるよう更なる努力を続け
ていく所存です。今後とも、よろしく願い申し上げます。



北九州ビジネス交流会に出展しました

【開催概要】

イベント名	北九州市制50周年プレ事業&FFG北九州本社ビル竣工記念事業 北九州ビジネス交流会 2013
日時	2013年2月7日(木) 10時~16時
場所	西日本総合展示場 新館
主催	福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行・ ふくおかフィナンシャルグループ・FFG経営者クラブ・ FFGビジネスコンサルティング
共催	北九州市・北九州商工会議所
出展/来場	出展：244社 / 来場者：4300名



左) 北九州市環境マスコット：ていたんくん
右) 北九州市公式キャラクター：モモマルくん

今回は、弊社イチ押しの環境ソリューションである産業廃棄物処理企業様向け「**GreenPlanet Pack**」や、インフラのムリ・ムダ・ムラをなくす「**Green Infra Solution**」だけでなく、公益法人様の基幹業務をトータルでサポートする「**公益法人シリーズ**」など、ソルネットの特定分野ソリューションを多数ご紹介しました。製品のご紹介を投影したスクリーンは半透明のPP板で手作りしたものでしたが、ブースで足を止めてくださる方続出で大変ご好評いただきました。

出展社間のブース訪問も盛んに行われ、大変活気のある展示会でしたが、中でも自社の製品価値や環境への貢献をアピールしようと、様々な工夫をされている各社の方々の意欲的な姿に大変刺激を受け、私たちも「ITでエコに貢献！」をさらに追及し、環境ソリューションを強化・推進していこうとメンバー同心新たにいたしました。



展示ブースの様子

トピックス 環境省、国土交通省連携「港湾地域低炭素化推進事業の実証」について 弊社が事業者として採択されました (2013年1月28日)

環境省、国土交通省による「港湾の低炭素化を推進し、非常時にも電力供給を可能にするシステムの実証に関する事業(北九州港)」について、弊社応募事業が実証事業に採択されたことがプレス発表されました。

参考) JBグループHP: <http://www.jbcchd.co.jp/2013/01/30.html>

パワーを結集して、プロセス改善を



弊社では、継続的にCS（お客さま満足）向上を目的とした活動
 に取組んでおり、年に一回報告会を行います。

この報告会を始めて3年目を迎えますが、今年も全部門から5チームがそれぞれの活動成果について発表いたしました。

この取組みは、まず「お客さまに、より一層のご満足を頂く為には？」という問いに対して、各部門の選抜メンバーが議論と検討を重ね、仮説を立てて活動計画を作り上げます。その計画をもとに、PDCAサイクルを繰り返しながら効果を測り、目標達成を目指します。

激戦を勝ち抜いて今年度優勝したのは、地図情報ソリューション部のチーム、その名も「G-POWER」でした。「G-POWER」の取組みは、SPEAK-IPA（※1）アセスメント手順を活用して、要求定義局面のシステム開発プロセスの品質を改善し、次工程からの「手戻りゼロ化」を実現しようとするものです。

優勝を逃したその他チームも、1年間お客さま満足について真剣に考え続けたこの活動を通じて、ひとり一人の意識や活動品質を向上することができ、また、発表を聞いた社員たちも、皆様々な「気付き」を得ることができました。



発表された皆さん。左から3番目が「G-POWER」代表の内田さん

2012年度 CS活動 ソルネット発表会

No	事業部門	チーム名	テーマ	発表者
1	営業統括	High! よろこんで	「営業プロセス改善による提案時間の確保」 ～ 商談プロセス改善による業務効率の向上 ～	佐藤 大樹 さん
2	第二SOL 事業部	チャンパース	「公益法人シリーズ セリングプロセスの改善」 ～ Quick & 高品質な情報デリバリーを目指して～	花田 英一郎 さん
3	第一SOL 事業部	G-POWER	「要求定義プロセス改善」 ～ 要求仕様の明確化による手戻りゼロ ～	内田 聡 さん
			(休 題)	
4	事業管理	V-Bos	「健康管理・増進の強化促進」 ～ CSRブランディングの向上 ～	久枝 未奈 さん
5	サービス 事業部	やきうどん	「提案プロセス改善！」 ～ お客様へのニーズを踏まえた提案活動 ～	下畑 隆行 さん
			(休 題)	
			講評及び結果発表	

各部門のCS活動テーマ

CS向上を目的としたプロセス改善を全社的・継続的に行うことによって、社全体の活動品質を高め、お客さまにより大きな満足をご提供できるよう、頑張っていきたいと思っております。

※1：ソフトウェアプロセスの供給者能力判定
 及びアセスメントキット-IPA版

(セールスオペレーション&マーケティング)



誰もがどこでも使えるサービスへ

2013年2月8日 横浜商工会議所（産業貿易センタービル 8階特別会議室）にてチェンバーズパックユーザー会（CPU会）を開催いたしました。このCPU会は、弊社ソリューション「チェンバーズパック」をご採用頂いた商工会議所さまで構成される年1回のイベントで、今年で4回目の開催となります。今回もシステムの採用をご検討中の商工会議所さまにもゲストとしてお越しいただき、19会議所（25名）さまにお集まりいただきました。

はじめにCPU会の歩みと、15年に亘る製品の実績、未来へのロードマップをご紹介、その後、事例報告として、弊社ソリューションを効果的にご活用頂いている2会議所のご担当者さまに、活用事例や運用上の工夫、ご経験談をお話し頂きました。

最後にディスカッション・タイムとして今年度お問い合わせが多かったトピックの中から、スマートデバイスの活用方法やクラウド、災害対策など、参加者の皆さまが日頃感じている課題や業務に対する考え方について、活発な意見交換ができました。

参加頂いた皆さまからは、『各会議所の様々な取組みを聞くことができ、これらを参考に、私たちももっと活用していきます。』と、うれしいお言葉を頂き、CPU会の目的である“会員間の交流促進”の実現に、微力ながらお手伝い



ユーザー会での様子

できたのではと思っています。

今回頂いた貴重なご意見、ご要望に一つでも多くお応えし、お客さまにより最適な製品・サービスをお届けしていこう！と、関係者一同、決意を新たにしました。

(CPU会事務局)



会場からみえる素敵な眺望で、会話も弾みました

「公益法人シリーズ」開発チームのご紹介

皆さま、こんにちは！第1グループの池田です。私が所属するチームは、ソルネットInitiative7の一つである「公益法人」さま向けに基幹業務をサポートするソリューションパッケージの開発・保守及び販売支援を担当しています。

具体的な業務として、ソリューションのコア機能の開発・メンテナンスを中心に、お客さまへのソリューション説明・デモから導入計画策定/要件整理のご支援、開発/導入および保守まで広範囲にわたり他部門と連携しながら日々実施中です。

商工会議所さまを始め、財団法人さまなど全国各地の公益法人さまにご採用いただいているため、その距離の不安を感じないようチーム全員でお客さまと積極的にコミュニケーションするよう心掛けています。国内外問わずどこへでも飛んでいきますので是非お声掛けください!!



左から末松さん、池田さん、筑後さん、江利角さん、花田さん、小西さん

（第1グループ 池田 宜弘）

社員メンバー紹介

小西 豪

安定したチーム運営、ソリューションパッケージの更なる拡販を目指します。

花田 英一郎

戦略的なバージョンアップに注力し、公益法人さま向けオールインワンパッケージとしてNo1を目指します。

池田 宜弘

シリーズの拡販・導入でノウハウを蓄積し、更にパッケージの機能充実を目指します。

「今後の抱負」を一言

末松 政則

お客さまにご満足いただける、質の高いシステムの提供を目指します。

筑後 早苗

「日本一周旅行！」を目標に、お客さまのニーズに合わせた展開を目指します。

江利角 昌巳

お客さま視点を心がけながら、革新的な次世代のソリューションを作り上げていきます。



ソルネットの「強み」を活かして

昨年、弊社の特定分野ソリューションとして、「マイグレーション」を追加しました。弊社の「マイグレーション」は、汎用機やオフコン上で稼働するシステムが、老朽化などの理由で環境を維持できなくなったとき、現在のプログラムソースをそのまま利用して、手間なく短時間でオープン環境に寄せ換えるというもので、構築時のアプリケーション資産の有効活用が可能となるだけでなく、運用時のコスト削減や、レスポンスタイムの向上などが期待できます。

このマイグレーションの事前調査やテストを行うにあたって、汎用機やオフコンに関する知識が必要になりますが、弊社S Eの中核メンバーは、汎用機上の生産管理システムを中心とする設計・開発を長く経験しているため、豊富なスキルと万全の体制で対応することができます。

弊社のこの「強み」を活かすことで、お客さまが愛着をもってご利用になっている「大切な資産」としてのアプリケーションを、今後も効果的に安心してお使い頂くためのお手伝いができるということに、私たちは大きな喜びとやりがいを感じています。



社内でのマイグレーション事例報告会の様子

*弊社HPでは、マイグレーション事例をご紹介します。

⇒ <http://www.solnet-dot.com/products/develop/migration/case01-2.html>

(Y.N)

編集後記

2月10日は、弊社が活動の拠点としている北九州市の50歳の誕生日でした。その日、会場となった勝山公園では、餅つきや北九州ウルトラクイズなどの楽しい企画が催され、とても賑わっていました。プレス発表では約75,000人もの方が訪れたとのこと。このようなお祝い行事は市制50周年記念事業として翌年2月まで続くそうで、これからのイベントがとても楽しみです♪ (K.K)

